

アバンセ

NOW

情報誌



Vol.100 2019.10

アバンセ開館25周年・アバンセNOW100号記念特集



CONTENTS

P2 開館25周年
記念事業

P6 男女共同参画センター
事業統括
インタビュー

P8 生涯学習センター
まなびいフェスタ
お知らせ

P10 DV総合対策センター
女性に対する
暴力防止講演会
のお知らせ

P11 マイナス
1歳からの
イクカジ
推進事業



「県民みんなの広場」の25年

佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

事業統括 ^{うえの} 上野 ^{けいぞう} 景三

アバンセは、令和元年(2019)度で25周年を迎えました。平成7(1995)年3月の開館以来、男女共同参画と生涯学習の推進にあたり、通算931万人(2019年8月末現在)の方にご利用いただきました。県民の皆さまをはじめ、アバンセの運営にご協力いただいている関係者の方々に感謝申し上げます。

アバンセは「県民みんなの広場」。この言葉の意味は、県内のすべての地域の、あらゆる世代の皆さまに親しまれることを願ってキャッチフレーズとしたものです。県内のどこの地域に住んでいても、どんな世代であったとしても、県民の皆さまの近くにおいて、寄り添うことを目標としたものでした。

アバンセ25周年のあゆみ

男女共同参画・DV対策関係

「政治分野における男女共同

「女性の職業生活に



男性の家事参画講座



男女共同参画週間記念フォーラム



女性に対する暴力をなくす運動

性暴力救援センター・さが(さが

男性総合相談

「国内版GEM調査研究事業」が全国女性会館協議会の第5回企画

「女性センター」の名称を「男女共同参画センター」に変更

「アバンセ基金」創設 **平成**

「第52回全国女性会館協議会全国大会」開催

「佐賀県DV被害者支援基本計画」策定 **平成18年度**

2006 (平成18年度)

男女共同参画の翼派遣事業開始 **平成17年度**

「佐賀県DV総合対策センター」設置 **平成16年度**

男女共同参画週間記念フォーラム開始 **平成14年度**

「佐賀県男女共同参画基本計画」策定、「佐賀県男女共同参画推進条例」施行 **平成13年度**

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)施行 **平成13年度**

『さかの女性史』刊行 **平成12年度**

「男女共同参画基本計画」策定 **平成12年度**

「男女共同参画社会基本法」公布、施行 **平成11年度**



アバンセフェスタ

第4回世界女性会議(北京) **平成7年度**

女性総合相談・特別相談(法律相談・健康相談)窓口開設 **平成7年度**

出張セミナー(お届けセミナー)開始

1995(平成6年度) 佐賀県立女性センター※・佐賀県立生涯学習センター(アバンセ)開館

※現「佐賀県立男女共同参画センター」

1990

世界の動き 国の動き



25年の歩みを振り返ってみますと、いろんな法整備や国の施策展開も進み、アバンセとしても多彩な事業に取り組んできました。しかし25年も経過すると、社会の変化に対応する男女共同参画・生涯学習事業を進めることができたのだろうか、どこまで県民の皆さまに寄り添うことができたのだろうかと忸怩たる思いもあります。今後も引き続き努力をまいります。

今年、25周年の記念事業をはじめ多彩な事業に取り組んでいます。25年たってホールの耐震工事やトイレの改修等、館内施設のリニューアルも手がけました。これを機会にまたアバンセにお立ち寄り下さい。お待ちしております。



※【中教審】…中央教育審議会

平成30年度 県民カレッジ夢パレット博士600人達成

平成30年度 【中教審】「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」(答申)

平成28年度 文部科学省委託事業「学びを通じた地方創生コンファレンス」を開催(平成29年度まで)

2013 (平成25年度) 当財団が公益法人化

平成24年度 市町・公民館等・アバンセの三者協働による課題解決支援講座開始



学びを通じた地方創生コンファレンス



県民カレッジ夢パレットさが博士第1号誕生



障害者のための教養講座



県民のつどい生涯学習フォーラム

社会教育・生涯学習関係

佐賀県の動き

アバンセの動き

アバンセ 開館25周年記念イベント

記念講演

笑顔でつなぐ 木久蔵流・地域コミュニケーション

令和元年

10月19日 土 13:20~15:00
(13:00開場)

入場
無料

※聴講には事前に配布する整理券が必要です。整理券はアバンセの総合案内にて配布しております。

会場 アバンセホール 定員 300名

落語家
講師 林家木久蔵 (二代目)

<講師プロフィール>

平成 7年 10月 林家木久蔵(初代)「現・木久蔵」に入門
平成 8年 2月 前座入り 芸名「林家きくお」となる
平成11年 9月 ニツ目昇進
平成19年 5月 教育評論社より木久蔵との共著「がんばらない子育て」を出版
7月 親子大賞2007「選考委員特別賞」受賞
9月 真打ち昇進に伴い、落語界史上初「ダブル親子襲名」を行い、二代目林家木久蔵を襲名する。
平成20年 7月 岩崎書店より木久蔵との共著「親馬鹿力のおかげです」発売
平成28年 6月 NHK「みんなのうた」で親子3代ユニット「木久ちゃんロケッツ」による「空とぶプリンプリン」放映。
平成27年7月~平成31年4月 東京新聞 毎週水曜日 朝刊(大学対抗 大喜利選手権)連載
古典落語を中心に演じ、また講演会では、「木久蔵流、コミュニケーション術」「木久蔵流・笑うが一番」などの演題で行っている。



第3回

アバンセ感謝祭

練習や制作で定期的にアバンセをご利用の個人やグループのみなさまが活動の成果を発表します。

令和元年 10月19日 土 10:00~17:00

展示・ミニ講座・ブックリサイクルなどを実施

会場 北ロビー・展示コーナー・展示ギャラリー

令和元年 10月20日 日 10:00~16:00

展示・ミニ講座・iPad無料体験会などを実施

会場 北ロビー・展示コーナー・展示ギャラリー

※詳細は裏面をご参照ください。

アバンセ開館25周年記念

放送大学佐賀学習センター 公開講演会

演題 宇宙はなぜブラックホールを造ったのか

講師 放送大学教授
谷口義明

(宇宙物理学/銀河天文学/光学・赤外線天文学専攻)

令和元年

10月20日 日 13:30~15:30(受付13:00~)

会場 アバンセホール

定員 300名 事前申込みが必要です。


お申込み・お問合せ先

放送大学佐賀学習センター(アバンセ4階)

TEL 0952-22-3308/FAX 0952-22-3398

Email : saga-sc@ouj.ac.jp

入場
無料



アバンセ25周年によせて 関係団体からのメッセージ



佐賀県翼の会
会 長 江口 英子

「アバンセ」の開館は女性たちにとって衝撃的でした。全国に公募した館長、女性たちの時代がきたと女性たちが活動できる場を喜びました。1985年ケニアのナイロビの第3回世界女性会議に佐賀県は10名の女性たちを派遣、その女性たちが会議をしたくても集う場がなかったようです。

私は1995年アバンセが開館した夏、第4回世界女性会議NGOフォーラムに参加して男女参画社会づくりの活動に関わっています。これからも多くの女性たちが豊かな地域づくりのために集う場であってほしいと願います。



国際ソロプチミスト佐賀有明
会 長 西岡 久富美

アバンセ開館25周年、誠におめでとうございます。25年前、多くの女性が県内各地より集い、交流を深め、学び合って互いに研鑽し合うことができるアバンセの開館は、大変画期的なものでした。社会が多様化する現在においても、アバンセの存在は益々必要度を増しています。

国際ソロプチミスト佐賀有明も大変お世話になっており、この度、20周年記念事業で、アバンセ基金に寄付をすることが決まりました。

これからも、アバンセが県民の大いなる期待に応えてくださることを祈念いたします。



特定非営利活動法人
女性参画研究会・さが
理事長 山崎 和子

アバンセが開館した1995年に、県の男女共同参画担当職員に就任し、以来、退職までの約10年、何かしらアバンセに関係してきたように思います。

船橋邦子初代館長の頃は、女性の翼派遣事業での世界女性会議NGOフォーラムへ参加随行や、女性プランの改定について船橋館長との作業を夜遅くまでしたことなど思い出深いものです。

開館25年となる今、アバンセでのこれまでの学習を生かし、活動する私どもにも変わらぬご支援をお願いするとともに、アバンセのますますの発展を祈念します。



佐賀県生涯学習
インストラクターの会
クリエイトさが
会 長 大島 弘子

アバンセ開館25周年、誠におめでとうございます。

立地条件等が最高の所に社会教育・生涯学習・男女共同参画の拠点として建設された、アバンセに希望と期待で胸が高鳴りしたのを昨日のように思い出されます。これまで多くの県民に親しまれ盛り沢山の事業運営に日々ご努力されている職員の皆様に敬意を表します。

アバンセには寸劇づくりの指導、体験講座への参加等で大変お世話になっています。これからも県民の学習の場として、更に発展されることを祈念致します。



アバンセ花倶楽部
会 長 江島 純子

アバンセ開館25周年おめでとうございます。

平成19年に高齢者大学(現ゆめさが大学)の卒業生と一緒にボランティアサークル「アバンセ花倶楽部」を立ち上げて以降、アバンセの開館25周年のおよそ半分の期間をアバンセに携わることができ、感謝しています。

アバンセには、今後もますます、高齢者の生涯学習活動やボランティア活動を応援してもらって、人生を謳歌できる佐賀県づくりに貢献していただきたいと思えます。

特集

Special Feature

インタビュアー・聞き手
アバンセ事業統括

佐賀県健康福祉部
男女参画・子ども局長

佐賀県男女共同参画推進審議会長
佐賀大学教育学部教授

上野 景三 × 甲斐 直美 × 中西 雪夫



男女共同参画の想いを語る ～佐賀の未来をつくるために～

今回はアバンセNOW100号の記念号に当たり、今年度から佐賀県男女共同参画推進審議会長に就任された中西雪夫さん、また、佐賀県男女参画・子ども局長に就任された甲斐直美さんに、これからの佐賀県の男女共同参画推進についてお話を伺いました。

上野 はじめに、佐賀県男女共同参画推進審議会長、また佐賀県男女参画・子ども局長就任に当たり、抱負をお聞かせください。

中西 佐賀県の男女共同参画推進審議会委員は9年目になりますが、教育学の専門家として委員会に参加していたので、教育現場におけるジェンダーや家庭生活における男女の問題など、狭い視野でしか見ていませんでした。今回は会長に指名されたので、例えば、DVの問題やワーク・ライフ・バランスなど専門外のことについても、もう少し視野を広げていかなければいけないと思っています。

甲斐 男女共同参画は、全ての人自分らしく豊かに可能性を持って生きていける社会ですが、それは県の「人を大切に世界に誇れる佐賀づくり」にも繋がり、男女共同参画社会づくりは将来的に活力ある佐賀県を維持していくための重要なことのひとつだと思っています。

また、佐賀県で子育てがしたいと思ってもらえるような「子育てし大県「さが」というプロジェクトを推進していますが、誰もが安心して子育てができ、様々な経験を積みながら子どもたちが健やかに育っていくことを目指しており、そこには男女共同参画がベースとして支える部分になっています。男女共同参画と子どもが合わさっている局は非常にコンパクトにまとまった組織であり、力を入れていきたいと思っています。

上野 佐賀県は三世代同居の割合がとて高かったのですが、今は家族サイズが小さくなり、家庭の変化が、子ども支援にしても男女共同参画にしても大きな影響を与えていると思いますが、いかがでしょうか。

甲斐 三世代同居では女性の手がたくさんあり、男性が子育てにあまり携わらないで済んできた部分もあります。しかし、今では若い方の意識も家族の形態も変わり、価値観も多様化しており、男性も子育てと一緒にやるようになってきたと思います。ただ、夫婦だけの子育ては結構大変で、またひとり親の場合もありますし、周りの手助けも必要です。地域などで繋がりをつくっていくことが大切だと思います。

上野 中西先生は、家庭科教育が専門で県内の男女平等教育についての理論的リーダーとしてずっと牽引してこられました。男女平等教育や男女共同参画についての課題や取組の成果など、何か思われることはありますか。

中西 今の38、39歳以下の若い世代は、小中高等学校で家庭科を男女一緒に学んでいるので、家庭科の男女共修世代と呼ばれています。共修世代は明らかに意識が変わってきていて、当たり前のように夫が家事に参加していることが、多くの調査で報告されています。私達のような中学高校では女子のみが家庭科を学んでいた家

Profile



Guest

佐賀県男女共同参画推進審議会会長
佐賀大学教育学部教授

中西 雪夫さん



Guest

佐賀県健康福祉部
男女参画・こども局長

甲斐 直美さん

庭科男女別修世代は、妻が専業主婦か共働きかで、夫の家事参加率は違いますが、家庭科を男女で学んだ若い共修世代は、妻の仕事の有無に関係なく夫も家事をすることが当たり前で、協働していくということが意識として定着してきています。

し、コーディネートしていく機能を強化することを盛り込んだことが特徴であると言えます。

他には、電話や面談による相談は、若年層にとってハードルが高く感じられるかもしれないので、SNSを活用した相談についての研究や取組も考えています。

上野 それは興味深い話ですね。次に佐賀県の計画についてお尋ねします。第4次男女共同参画基本計画、また昨年度は第4次DV防止・被害者等支援基本計画が策定されました。それぞれの紹介を兼ねて重点的な取組についてお話しいただけますか。

上野 それでは、中西先生が男女共同参画推進審議会の会長として、今後取り組んでいきたいことをお話いただけますか。

甲斐 まず、第4次男女共同参画基本計画ですが、第4次計画では特に、貧困など生活に困りごとや不安を抱えた女性が幅広い層に広がっている現状を踏まえて、重点目標に「生活に困難を抱えた女性が安心して暮らせる環境の整備」を新たに盛り込みました。

中西 現在、県や各市町ごとに男女共同参画推進に関わる審議会がありますが、情報交換の場が特にありません。県各市町の男女共同参画推進の取組や県への要望など、情報交換をすることで参考になることがあると思うので、年に一回でも情報交換の場があるといいのではと思います。

また、女性の活躍推進、女性の職業生活における活躍の推進ということも、国の基本方針を踏まえた「佐賀県女性活躍推進計画」として盛り込みました。そういった女性の活躍を進めるときにカギとなるのが男性の意識改革であり、県では昨年度から「マイナス1歳からのイクカジ推進事業」を実施しています。この事業では、父親は子どもが生まれてから子育てが始まるのではなく、妻の妊娠がわかったときから子育ては始まるという考えで、妻の妊娠期の体調の変化や家事参画、子どもが生まれてからのシミュレーションなどを学ぶセミナーを実施しています。

上野 なるほど。それは会長としてぜひやっていただければいいですね。甲斐局長はいかがでしょうか。局長に就任されて、県ではどのようなことに取り組んでいく必要があるとお考えですか。

次に、第4次DV防止・被害者等支援基本計画について、まずは予防が重要ということで、今回初めて計画の名称に「防止」という言葉を入れました。

甲斐 市町によって悩みや困りごとがいろいろあると思うので、市町の担当者会議の機会に、伝達だけではなくグループワークなどで意見交換をする場を設けて、市町担当者の関係を築く機会をつくることも大事ではないかと思っています。

また、DV被害者の方がDVから逃れて自立しようとするときには様々な問題が出てくることから、住宅や生活費、子どもの学校や子どもへの支援など、学校をはじめ、生活支援、法的な支援、また警察など、いろいろな機関が連携をしながら、短期間ではなく中長期支援をしていくことが重要だと思っています。

上野 最後に、アバンセに対する課題や期待について教えてください。

そうしたことを踏まえて、第4次計画ではDV総合対策センターが中心となって様々な機関、職種の方と連携

中西 男女共同参画や生涯学習についての情報発信をこれからも地道にやっていただき、意識啓発や改革をしていくことが大事なのではないかと思っています。これからも県民への情報発信の場として期待しています。

甲斐 若い方や子育て世代の方など幅広い世代の方に、また県内各地から利用していただけるような、県民に愛されるアバンセであってほしいと思います。

上野 これからも市町に出かけていくアウトリーチを広げ、そこで一人一人の県民の方に開かれたアバンセ、それも全地域、全世代に開かれたアバンセづくりに取り組んでいかなければならないと思っております。会長にも局長にもご協力の程、よろしく申し上げます。今日はありがとうございました。



Interviewer

アバンセ事業統括
上野 景三

2019
10/6日(日)
まなびい
フェスタ
開催!

10:00~16:00

佐賀県立生涯学習センターでは、アバッセ全館を会場に「学びへの入口の場」「新たな人や学びと出会い、つながる場」となる『まなびいフェスタ』を開催します！
「好き」「できる」が広がる・深まる一日を楽しみにぜひご来場ください♪



ちしやき
樽木さん



江頭さん
(サポーター)



委員長
秋山さん



副委員長
り李さん



副委員長
りん林さん



ひえだ
稗田さん



今回のフェスタの
テーマは…!

個性豊かな実行委員メンバーで、
みんなが楽しめる1日になるように
企画・準備をしています!

れい
零からの一歩!

おも
想像から創造 まなびの世界

今年のテーマは、「令和元年という今(「零」〈れい〉)から未来へ一歩ふみ出そう」「新しいものと出会い、触れたり感じたり、自ら体験することで、学びの楽しさを深め、自分の世界を広げていってもらいたい」という思いを込めて決めました。

6月から実行委員会がスタート！
和やか＆真剣な雰囲気で行われる
委員会の様子を紹介します♪



▲今年はどうなフェスタをめざす？ イメージを言葉にしなが、みんなで全体像を共有！



▲フェスタに参加した方が楽しめる企画とは？ みんなでアイデアを出し合い、より具体的に考えていきます！

チェック!まなびいフェスタ2019

わくわく
ドキドキが
いっぱい!

「フェスタを楽しむコツ」は!?



委員長の秋山さん

お越しいただいた皆さんにとって学びの
一歩になるように、ワークショップやミニ
講座、展示ブースなど様々なプログラムを
用意しています。世代を超えて楽しめる仕
掛けがちりばめられているので、気になる
ものがあればどんどん参加して、ぜひ1日楽
しんでください。そして、ここでの出会いや
学びを広げて、新しい時代と一緒に創って
いきましょう。

「フェスタのおススメポイント」は!?

副委員長の林さんと李さん
(西九州大学 留学生)

ずばりおススメは「少年自然の家クラフト
教室」です。毎年、子どもたちに大人気のコー
ナーですが、人気の理由は自分の手で作り出
すことが一番楽しいからなんだと思います。
今年は国立夜須高原青少年自然の家も加
わって、4つの体験メニューが登場! お気
に入りの作品を作って、フェスタの思い出に持
ち帰ってほしいです。

ホールイベントはコレ!

みんなで楽しもう! パーカッションワールド♪
わくわくドキドキ☆打楽器コンサート
〈出演〉佐賀県打楽器協会

- 会場: アバンセホール(1階) ●入場無料
- 開場: 13:30 / 開演: 14:00(15:00 終演予定)
- ♪打楽器体験コーナーなどもあり
- 見て聴いて楽しいコンサートです! どなたでもお気軽にご来場ください!

まなびいフェスタの詳しい内容は...

当日はアバンセ全館でワークショップやミニ講座、作品展示などを
開催! 詳しい内容はチラシやアバンセHPで紹介しています。
当日に参加できる無料体験ワークのほか、事前申込みが必要なもの
もありますので、気になる方はぜひチェックしてみてください!

★お問合せは...
佐賀県立生涯学習センター(アバンセ) TEL 0952-26-0011
アバンセHP <http://www.avance.or.jp/>



※写真は昨年度のまなびいフェスタの様子です。

「県民カレッジの集い」渡貫 淳子さん講演会のお知らせ

かあちゃんの挑戦! 南極で料理人になる

日時 2019年11月10日(日)
14:00~16:00(開場 13:30)

会場 アバンセホール(定員300名)
※定員を超えた場合、研修室でのモニター視聴となります。

対象 県民カレッジ入学者および入学希望者
(申込時に入学すればどなたでも可)

参加無料
要事前申込

わたぬき じゅんこ
講師 渡貫 淳子さん
(第57次南極地域観測隊 調理隊員)

(講師プロフィール)
1973年青森県八戸市生まれ。調理師。「エコール辻東京」を卒業後、同校の日本料理技術職員になる。出産後は一旦職場を離れ、一児の母として家事・育児に奮闘する日々を送ってきたが、一念発起して南極観測隊の調理隊員にチャレンジ。3度目の挑戦で見事合格を果たし、母親としては初の調理隊員として第57次南極地域観測隊に参加。

県民カレッジは、佐賀県が県民の皆さまの生涯学習を応援するシステムです。入学は無料で、いつでも誰でも入学できます。

詳しくは、佐賀県立生涯学習センター(アバンセ) TEL.0952-26-0011 までお問合せください。



女性に対する暴力をなくす運動(期間11月12日～11月25日)

令和元年度 女性に対する暴力防止講演会

DV加害者の更生に向けて～臨床現場からの提言～

今年度、佐賀県では佐賀県DV防止・被害者等支援基本計画(第4次計画)が策定されましたが、その中に、加害者更生プログラム等の研究・実施について、国の動向を踏まえて検討することが盛り込まれています。

ドメスティック・バイオレンス(DV)の特徴の一つとして、加害者には罪の意識が希薄であることがあげられています。加害者更生では、加害者がその行為を認め、変わることを提案しています。

DV男性加害者などを対象にした脱暴力への更生に関わってきた講師に、これまでの取組の中から、暴力をなくすための提案と実践についてご講演いただき、被害者支援の一環として加害者更生プログラムの今後のあり方について、みなさんと考えます。

- 日 時／令和元年 **11月15日(金) 13:30～16:30**
- 場 所／佐賀県立男女共同参画センター(アバンセ)4階 第1研修室
- 定 員／100名(定員になり次第締め切り) ● 入 場／無 料 ※一時保育あり

〈演 題〉「被害者支援にとっての加害者問題の理解
脱暴力への私の提案と実践」



〈講 師〉 ^{なかむら} **中村** ^{ただし} **正**さん(立命館大学大学院人間科学研究科/
産業社会学部教授)

〈内 容〉 **講 演** 13:30～15:00

パネルディスカッション 15:15～16:15

- テーマ／「加害者更生プログラムの具体的取組みに向けて」
- パネリスト／中村 正さん
NPO法人DV防止ながさき理事
佐藤 紀代子さん
- コーディネーター／佐賀県DV総合対策センター所長
原 健一

主 催／佐賀県 主 管／佐賀県DV総合対策センター

お問い合わせ
お申込み等

佐賀県DV総合対策センター(アバンセ内)

TEL:0952-28-1492 FAX:0952-25-5591

E-メール: dv@avance.or.jp

詳しくは、佐賀県DV総合対策センターのホームページをご覧ください。

<http://www.avance.or.jp/dvsougou.html>



夫婦で子育てを



100倍楽しむためのセミナー

グッジョブ
パパライフが
はじめられます



家族が増えると、生活リズムや夫婦それぞれの役割も変わっていきます。夫婦が協力して育児や家事を行うための、子育ての楽しみ方はもちろん、役割分担方法や、お互いを気遣う声の掛け方、男女の考え方の違いなどを学んでみませんか？

子どもの成長とともに、夫婦が笑顔でいることが何より大事。子どもが憧れる「笑っている夫婦」を目指しましょう！

県内各地でセミナー開催♪申込受付中♪

〈セミナー例〉

- ・助産師さんによる講座で、ママの心身の変化を学んだり、妻に施すハンドマッサージの手法などをお伝えします。
- ・先輩パパから、主体的に子どもに関わる、妻を大事にするなど、パパであること楽しむための心得を学びます。
- ・夫婦間の“家事ギャップ”を解消するためのコツを専門家がアドバイス。「皿洗いセンター試験」も開催！



講座詳細・申込方法

「マイナス1歳からのイクカジ公式サイト」の申込フォーム、またはお電話、メールにてお申込下さい。

佐賀 マイナス1歳

検索

お問い合わせ

佐賀県立男女共同参画センター「アバンセ」
Mail : danjo@avance.or.jp
Tel : 0952-26-0011

主催：佐賀県、佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神崎市、基山町、白石町
企画運営：マイナス1歳からのイクカジ推進実行委員会（構成団体：アバンセ/ファザーリング・ジャパン九州）
後援：佐賀県医師会、佐賀県産婦人科医会



INFORMATION 情報サービスフロアNews

男女共同参画、生涯学習の情報を提供しています

アバンセ1階の情報サービスフロアは、男女共同参画社会の実現や、生涯学習の支援となるような資料を幅広く集め、閲覧や貸出をおこなっている図書資料室です。

新刊図書案内やテーマ展示、主催事業に関する資料の紹介のほか、インターネット検索パソコンを設置し、情報提供をおこなっています。どうぞご利用ください。

セクハラ 「セクハラ・サバイバル」



佐藤 かおり / 著
三一書房

セクハラでメンタル不調にまで追いつめられた一人の女性が、労災申請を棄却され国を訴えて勝訴。労災認定基準の見直しを実現させた、闘いとサバイバル、再生のストーリー。セクハラについての基礎知識も掲載する。

夫婦 「家事のワンオペ脱出術」



佐光 紀子 / 著
エクスナレッジ

家事は、家族全員が快適に暮らすためのもの。外野に手抜きだと言われても、家族がOKで笑顔なら、それで十分！家事のワンオペから抜け出すヒントを「上手に分担」「簡単な方法に変える」など5つのキーワードから提案する。

消費税の増税に伴いアバンセ利用料金を改訂いたしました



アバンセでは、本年10月からの消費増税に伴いましてアバンセ利用料金を改訂いたしました。県民のみなさまには、ご負担を求めることとなりますが、何卒よろしくお願ひします。

なお、新たな利用料金につきましては、アバンセホームページ(<http://www.avance.or.jp/>)に掲載していますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

〈お問い合わせは〉
アバンセ 指定管理者
(公財)佐賀県女性と生涯学習財団 管理部へ
TEL/0952-26-0011 E-mail/daihyo@avance.or.jp

「女性のための市町巡回相談」のご案内

アバンセの女性総合相談員を、下記の市町に派遣しています。是非ご利用ください。

(相談時間10:00～16:00) ※2019年度より、玄海町のみ相談時間を変更しております。

| 会場 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 会場 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|-------------------|--------|--------|--------|--------|
| 多久市役所 | 16日(水) | 20日(水) | 18日(水) | 15日(水) | 吉野ヶ里町東脊振庁舎 | 3日(木) | 7日(木) | 5日(木) | 14日(木) |
| 基山町役場 | 9日(水) | 13日(水) | 11日(水) | 8日(水) | 上峰町役場 | 25日(金) | 22日(金) | 27日(金) | 24日(金) |
| 玄海町役場 (相談時間 10:30～15:00) | 23日(水) | 27日(水) | 25日(水) | 22日(水) | 大町町総合福祉保健センター(美郷) | 2日(水) | 6日(水) | 4日(水) | 7日(火) |
| 江北町役場 | 10日(木) | 14日(木) | 12日(木) | 9日(木) | 白石町役場 | 11日(金) | 8日(金) | 13日(金) | 10日(金) |
| 太良町総合福祉保健センター(しおさい館) | 18日(金) | 15日(金) | 20日(金) | 17日(金) | | | | | |

*相談日が変更になることもあります。詳しくは各市町へお問合せください。

ACCESS



アバンセ南出入口に屋根付身障者用駐車場(5台分)があります。

- JR佐賀駅から徒歩約10分
- 駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- 開館時間：火～土 8:30～22:00
日・祝 8:30～17:00
休館日：毎週月曜日
12月29日～1月3日

- アバンセは佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センターの愛称です。
- 「アバンセ(avance)」はスペイン語で「前進」という意味です。
- 『アバンセNOW』はアバンセの今をお伝えする情報誌です。

アバンセNOW
vol.100 2019.10月号

● 発行・企画 / 佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター (アバンセ)
〒840-0815 佐賀市天神三丁目2-11 TEL.0952-26-0011 FAX.0952-25-5591
E-mail daihyo@avance.or.jp URL <http://www.avance.or.jp/>

● 編集・印刷 / 誠文堂印刷(株) 佐賀市兵庫北一丁目5番17号 TEL.0952-22-3242